

緑化だより

No.187 令和4年10月号



コツクシサワゴケ雄花器

- 季節の花(まゆみ(檀))
- 水生昆虫の話(ヒラタカゲロウ)
- 小さな世界こけ
(ムクムクゴケ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

ryokka 遊学の森

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2



広島県
緑化センター
二次元コード

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>

季節の花

まゆみ(檀)

「南淵(みなぶち)の 細川山(ほそかはやま)に立つ檀(まゆみ)

弓束(ゆみづか)巻くまで 人に知らえじ

作者不詳 万葉集 10-2202

これを訳しますと

(南淵にある細川山に生える檀(まゆみ)で弓を作り、その弓の握る部分に草やサクラの皮を巻くように、彼女としっかりと契りを結ぶまでは、人に知られないようにしましょう。)

当時は弓の中央部分(弓束:手に持つところ)に桜の皮を巻いて恋の成就を願っていたと思われま

す。マユミは、ニシキギ科の山野に生育する落葉低木で、北海道、本州、四国、九州、朝鮮半島南部、中国大陸に自生しています。

古くはマユミの木から弓を作ったことから「真弓」と言われました。初夏に淡い緑色の花を咲かせ、秋には朱色がかった赤色の四角い果実をつけ、熟すと4つに裂け、中から、紅オレンジ色の仮種子に包まれた種子が出てきます。落葉後も赤い種子は落ちないで、いつまでも残っています。

マユミは花よりも、紅葉と赤くなった仮種子が美しいので、庭木としてよく植えられています。

若葉は食用とされ、昔は樹皮から和紙がつくられていました。材は緻密で堅く、狂いが少なく版木、小箱、将棋の駒などに使われました。

広島県緑化センターでも秋から冬にかけて、マユミの果実を堪能することができます。(上村)



マユミの花



水生昆虫の話

ヒラタカゲロウ

緑化センターの細いリ川の中には、何種類かの魚類も生息しています。この魚たちにとって、水生昆虫はとても大切な食料となる訳ですが、そんな溪流の魚を釣るのにとっても最適な川虫の一種が、カゲロウ目ヒラタカゲロウ科ヒラタカゲロウ属の幼虫です。

溶存酸素(水の中に溶けている酸素)の量が多い環境に生息しているので、水質階級 I (きれいな水)の指標生物とされています。

ヒラタカゲロウ属の幼虫は、頭は楕円形で大きな目に平べったい体をしており、腹部の鰓の形がウチワのように丸っこい形で、多くのカゲロウ目の幼虫は尾が3本あるのに対して、こちらのヒラタカゲロウ属は二本であるのが大きな特徴です。日本全国の上流から中流の溶存酸素量の多い水のきれいな流れのある瀬で、ゴロゴロした石の表面に張り付いて、すべるように動きながら藻類を削り取って食べて生活しています。平地溪流や山地溪流で石めぐりなどして川遊びをしていると、比較的簡単に見つけることができます。

写真の幼虫は、広島県緑化センターの小川でみつけた「ユミモンヒラタカゲロウ」。

北海道から九州まで広く分布しており、山地溪流で、表面がツルツルした大きめの石がお好みで、とにかく動きが素早い。

ヒラタカゲロウ属は、パッと見た感じどれも同じような形に見えますが、よく見ると顔つきが違っているなあ〜と個人的には感じているわけですが、種類を同定するときに確認すべき特徴は、腹部のエラに模様がないこと、頭部の前の中央に弓のような湾曲した模様があることですが、斑紋が個体によっては不明瞭な場合もあるそうで、斑紋だけではナミヒラタカゲロウと区別するのが難しいので、尾の長さがこちらのほうが長いことで区別します。

成虫は、春4〜5月と秋9〜10月の二回出現します。夕方ごろ水中で亜成虫が羽化して浮上し、水上へと飛び出す水中羽化をします。

この瞬間を見ることが出来たら、きっと感動的ではないかといつも思うのですが、今のところまだその瞬間に立ち会えたことがないので、いつかこの目で確認してみたいです。(西村)



ユミモンヒラタカゲロウ

小さな世界 こけ

ムクムクゴケ

溪流を歩きながら斜面を観察していると、クモノスゴケ、ヒノキゴケ、ケゼニゴケなどの間に、ヒノキの葉を重ねたような、白っぽい緑色のコケが見られることがあります。

これはタイ類のムクムクゴケです。

ムクムクゴケは、溪流の常に日陰で湿り気のある斜面や朽木に生育しています。

長さ3cmくらいの茎は、2〜3回に羽状分枝しています。

茎をルーペで見ると、全体に毛のようなものが見られます。これは葉が細く裂け毛状になった葉で、茎の全体がモジャモジャした葉でおおわれています。この姿が和名の由来になっています。

ヒノキの葉の様な、枝分かれした、柔らかい緑色の茎が重なるように生えている特徴が分かったら、離れたところからでも確認することができます。

緑化センター内でも何か所かの谷で見ることができます。(山根)



ムクムクゴケの生育環境



ムクムクゴケの茎の拡大



ムクムクゴケの茎

研修会のご案内

- 10月 2日(日) 『秋のきのこ教室』 10:00～14:00 第3駐車場 集合
園内で自由にきのこを採集し、午後から学習室に持ち寄り、鑑定します。 講師：きのこアドバイザー 川上 嘉章
※自由参加、無料、採集用カゴ持参、荒天中止
- 10月 7日(金) 『10月の自然探勝』 10:00～12:00 学習展示館前 集合
園内を歩き、植物を観察します 講師：緑花文化士 横山 直江
※自由参加、無料、荒天中止
- 10月 15日(土) 『三本木山 自然探勝』 10:00～12:00 第5駐車場 集合
三本木山をめざしながら植物を観察します 講師：環境カウンセラー・自然観察指導員 和田 秀次
※自由参加、無料、荒天中止
- 10月 22日(土) 『どんぐり教室』 10:00～12:00 学習室 集合
どんぐりでの遊び方などを学びます 講師：日本シェアリングネイチャー協会 トレーナー 住吉 和子
※要予約(先着15名)、無料
- 10月 23日(日) 『つづらふじでカゴ作り』 10:00～14:00 学習室 集合
作り方の基本を学び、実践します 講師：つづらふじ造形作家 飛河 道雄
※要予約(先着15組、残り僅か)、材料費1,500円
- 10月 29日(土) 『こども写生大会』 10:00～12:00 緑の相談所 集合
園内で自由に絵を描きます 講師：元中国新聞区画教室指導審査員 横山 直江
※対象は小学生以下、無料、描画道具持参(画用紙以外)
雨天中止

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するため、参加者はマスク着用、手・指の除菌、密集・密接を避けるようご注意ください。また状況によっては、研修内容の変更や中止となる可能性があります。ホームページ、お電話等で最新の情報をご確認ください。

☆ お知らせ・ご案内 ☆♪

10月11日は休園日なし

もみじ祭り2022 10月22日(土)～11月13日(日)

ひろしま遊学の森 スタンプラリー 2022秋 10月1日(土)～11月13日(日)

第6回ひろしま遊学の森
四季の移ろい写真コンテスト 応募締め切り 11月30日(水)
応募作品はひろしま遊学の森で撮影されたもの 一人3作品まで

Instagram フォトコンテスト2022秋 10月1日(土)～11月30日(水)

◎ 展示会

場所:レストハウス
(ボード展示)

日本画作品展 10月2日(日)～10月20日(木)

(ガラスケース展示)

つづらふじ手作りかご作品展 ～10月23日(日)

